

市長への手紙を実施しました

市長の市政運営方針である現場主義の一環として、まちづくりへの意見やアイデアを直接市長に伝えることのできる「市長への手紙」が行われました。その中から主な意見をお知らせします。

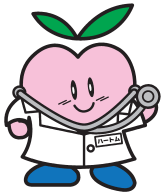
秘書広報課 ☎ 66-1145

質問

コロナ禍において、衛生対策などは医者やトップに置いて議論を行ってはどうでしょうか。

答え

コロナ対策にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策本部で検討を重ねており、随時開催しています。対策本部では、市内の感染症専門医に感染症対策推進アドバイザーとしての指導を受けながら、感染者の状況や国・県の方針を踏まえ、市における対策を進めています。医療体制整備についても、医師会と連携し協議をしています。医師会・市・市民病院で連携し、医療体制の強化を図っていきます。



質問

プラスチックは、クリーンセンターに回収された後どのように処理されているのですか？

答え

プラスチックは状態によって処理の方法が異なります。汚れているプラスチックごみは、可燃ごみとしてクリーンセンターで焼却し、ペットボトルや汚れていないものは、日本容器包装リサイクル協会を通じて売却し、国内の工場でリサイクルされます。しかしながら、分別されたプラスチック製容器包装の中には、汚れが落ちていないなどの理由で焼却処分しているものが全体の10%程度混ざっています。これらを減らしていくことでゴミの減量につながりますので、市民の皆さんにはご協力をお願いします。



質問

歩道の雑草が伸びていて運転中に視界が悪いところがあります。対策はありませんか。

答え

道路の管理については国道・県道は県、市道は市が管理しています。市道の草刈りについては、原則、年1回の草刈り

たくさんの声をありがとうございました



昨年11月に蒲郡市長に就任し、市民一人ひとりが希望と幸せを実感できるまちを目指して市政を進めてきました。就任当初から私は市民の皆さんとの対話を重視しており、多くの意見を取り入れながら課題を解決していきたいと考えております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により皆さんから意見を直接お聞きする機会を持つことができませんでしたので、今回この「市長への手紙」が、市民の皆さんが日頃どのような思いを持っているのかを知る貴重な機会となりました。いただいた多くのご意見を大切に、今後の市政運営に反映させていただきます。今回いただいたお手紙の中で、